

2021 年度入学試験問題 出題趣旨(民事訴訟法)

問 1

法人が当事者である場合に、代表権のない者によってなされた訴訟行為の効果と表見法理の適用について問う問題である。判例(最判昭和 45 年 12 月 15 日民集 24 卷 13 号 2072 頁)の理解を前提に、自身の見解を説得的に論ずることが求められる。

問 2

弁論主義の適用範囲を問う問題である。弁論主義の第一テーゼが適用される事実が主要事実に限られるのか、それとも間接事実も含まれるのか、また、主要事実と間接事実はどのように区別されるのか、積極否認や抗弁事実との関係を踏まえて論ずることが求められる。